

9月活動評価・課題

活動の感想

・調理ボランティアのご婦人方が3時から2～3名来てくださり、やることリストをどんどん自主的にこなしてくださり、慣れて来た様子で助かっています。

・利用されている方に誘われての初めてご利用の方もあり、また、おひとり暮らしの参加者もありで、地域の皆様が集いました。（市役所に置かれているチラシを見て参加された方がいました）

・大学生のボランティアが2人も来てくださり、こどもケアから料理の手伝い、片付けまでして下さり、大変助かりました。若い方々が関心を持ってボランティアくださるのは大変嬉しいです。

・9月25日は、デザート「白玉あん団子」を学童のこどもたちと作りました！白玉あん団子♪♪ちゃんと手を消毒して、とっても上手に丸めてくれました。おかげで120個以上のもちもちのあん団子ができあがりしました！

・ふと気がつけば、食べに来られたママさんパパさん方が配膳やスープをよそってくださったり、食後の食器洗いを誰に頼まれたわけでもなく自然なかたちで加わってくださったりで、早くも本来のこども食堂の理想の姿を見たようでした！

・食後は教会前の公園で真っ暗な中遊ぶこどもたち。大学生のお姉さんが見守っていてくださったので、ママさんたちは安心して食後もゆっくりほっこり会話がはずみました。

・食事が始まったところに、産直のきゅうりの差し入れがどっさり届きました！感謝です。

このように少しずつ、地域の方々がこども食堂に関心を持ってくださり、協力したい想いを持ち始めてくださっているのを感じます。

・初めてご利用になった方にアンケートを書いていただいた結果、「栄養もあり、デザートもありでおいしかった。」「食卓に子供同士で遊べて美味しい食事ができた楽しかった」というおこたばをいただきました。

今後の課題

・回覧板を回す時期が難しく、期日までに回りきらないこともあり、早め早めにご案内を回るようにして、こどものみの参加と理解されがちだが、おとなも招いていることを地域に知らせていきたいです。

・調理をしてくださる方が忙しいときは3時～7時まで立ちっぱなしの作業になってしまうので、極力休憩や水分補給を入れるようにしているが、負担にならない（疲れ切ってしまうように）よう配慮が必要だと思いました。

・広報「もりおか」にも掲載いただけると感謝です。

・その他、テレビや新聞、あらゆる情報手段の取材など可能なので、「せいなん」を広い地域に知っていただき、盛岡のみならず、全国からの関心や応援、寄付など募集したいです。